

畜

産

1 畜 産

本市の畜産業は、都市近郊という立地条件を生かして経営の近代化、新技術の導入を積極的に行うなどして発展してきました。

高度経済成長期から経済の低成長時代に至って食肉の輸入自由化が行われるなど、消費の動向は低価格輸入肉への移行が進む中、国産食肉の生産量は横ばいであり、消費は食生活の変化により増加しています。

しかし、口蹄疫が平成22年4月から7月にかけて宮崎県の292戸の農家で発生したことや、豚熱（CSF）が平成30年9月に岐阜市で発生し、令和元年のワクチン接種開始後も令和2年度に5県5事例、令和3年度に7県14事例、令和4年度に5県9事例発生したこと、高病原性鳥インフルエンザが平成28年度と令和5年度に隣接の山県市で、令和2年度には県内美濃加茂市を含め全国18県で53事例、令和3年度に全国12道県で25事例、令和4年度に全国26道県で84事例、令和5年秋から令和6年春のシーズンは全国10県で11事例発生したことなど、家畜衛生を取り巻く情勢は未だ厳しく、すべての畜産農家が懸命な防疫対策を行っています。

こうした厳しい条件の中、需給体制の強化や消費者の食品に対する安全安心志向に合った良質な畜産物生産が、畜産経営の安定を図るための重要な課題となっており、この方向に沿った経営基盤の再構築、家畜排泄物の堆肥化（リサイクル）※などの環境対策を行い、畜産振興を推進しています。

※ 市内養鶏農家の鶏ふんの一部は、畜産センター公園の家畜ふんや市内公立学校・市立幼稚園・保育所の給食残さ等と混合し直営の堆肥化処理施設「エコプラント椿」で堆肥化。養豚・肉用牛農家の家畜ふんは防疫の観点から自家処理施設での処理を推進している。

○ 重要施策

1 経営の合理化と近代化

(1) 経営・流通対策

ア) 畜産共進会…岐阜市畜産共進会の後援、県共進会等への参加

(2) 指導対策

ア) 団体育成…畜産振興会の育成強化

(3) 環境対策

ア) 環境対策指導事業…環境問題の現地調査指導

(4) エコプラント椿事業

ア) 家畜排泄物等堆肥化

2 家畜防疫衛生対策

(1) 畜産衛生対策

ア) 各種疾病検査及び予防注射の実施

イ) 多発疾病防除事業の実施

(2) 家畜診療事業

(3) 家畜人工授精事業

(1) 乳 用 牛



生産コストの低減と経営の安定化を図るため、河川敷草地を共同利用した自給飼料の増産を推進し、優良精液による人工授精や受精卵移植により後継牛の確保に努めています。また、ワクチン接種及び畜舎消毒による疾病予防対策の実施、悪臭の防止、排泄物の管理適正化を図ることにより地域環境に融和した、新鮮で安全安心な牛乳の供給を目指した都市近郊型酪農を推進しています。

乳用牛頭数及び戸数の推移

令和6年2月1日現在

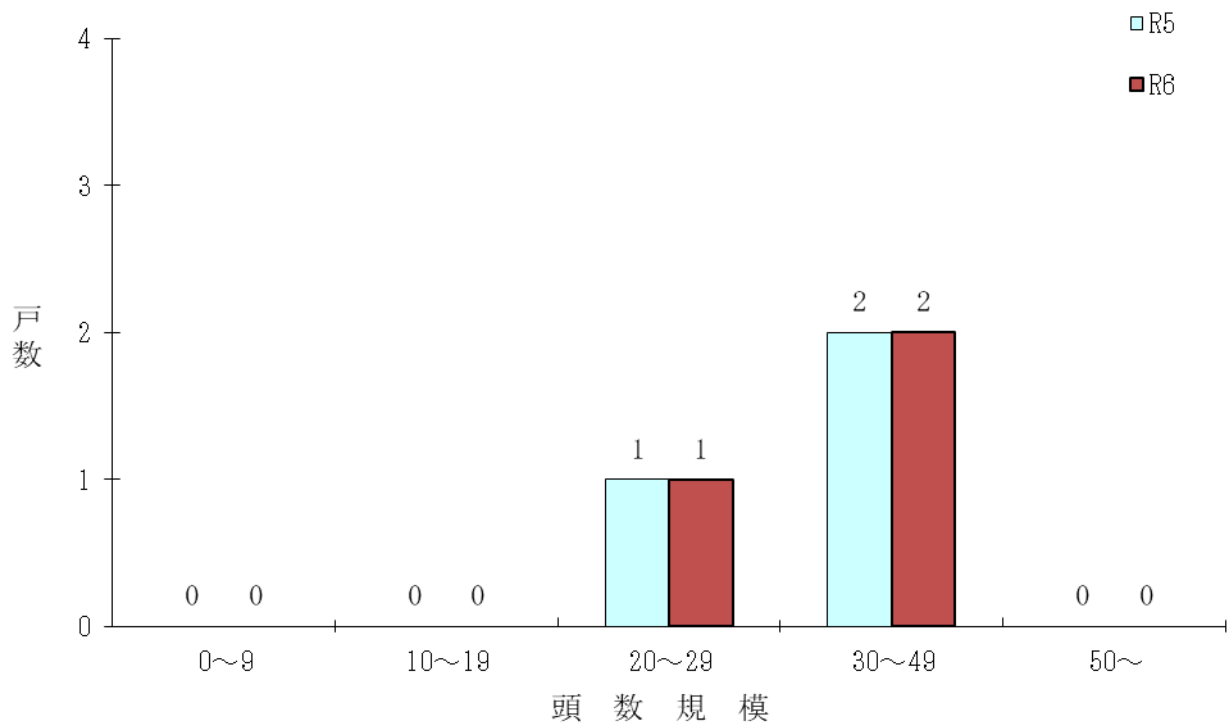
区 分 年	岐 阜 市				岐 阜 県			全 国		
	戸 数		頭 数		戸 数	頭 数		戸 数	頭 数	
	戸	%	頭	%	戸	頭	%	千戸	千頭	%
平成26	5	100	133	100	151	7,020	100	19	1,395	100
27	5	100	123	92	145	6,780	97	18	1,371	98
28	5	100	112	84	137	6,480	92	17	1,345	96
29	5	100	113	85	130	6,180	88	16	1,323	95
30	4	80	101	76	118	5,950	85	16	1,328	95
31	4	80	105	79	107	5,710	81	15	1,332	95
令和2	4	80	99	74	104	5,510	78	14	1,352	97
3	4	80	99	74	102	5,510	78	14	1,356	97
4	4	80	104	78	95	5,450	78	13	1,371	98
5	3	60	89	67	89	5,330	76	13	1,356	97
6	3	60	90	68	82	5,060	72	12	1,313	94

(注) 岐阜県・全国の数字は農林水産省畜産統計による。

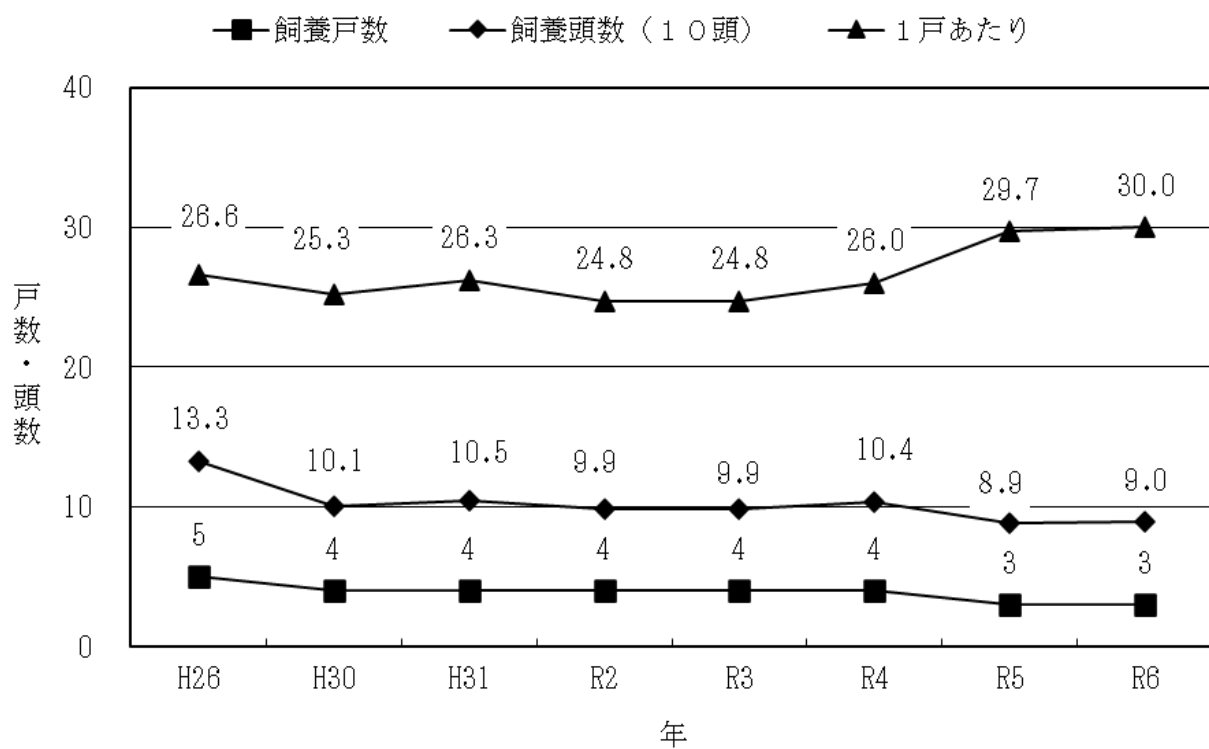
人工授精事業

年 度	28	29	30	R 元	2	3	4	5
授 精 件 数	289	271	286	269	230	259	196	92

乳用牛飼養規模別戸数



乳用牛飼養規模状況の推移



(2) 肉 用 牛



県内外の黒毛和牛主要産地から血統を重視した肥育素牛を導入する一方、自家繁殖による一貫生産も行われ、優れた肥育技術によって、県の銘柄牛「飛騨牛」の安定的生産に貢献しています。また、防疫衛生と環境保全を図り、肥育牛農家生産意欲向上と流通促進のための畜産共進会の後援、さらに家畜保健衛生所との定期的な巡回指導、先進地視察の実施により最新の肥育技術の導入を図り、経営の近代化と肉質の向上をめざしています。

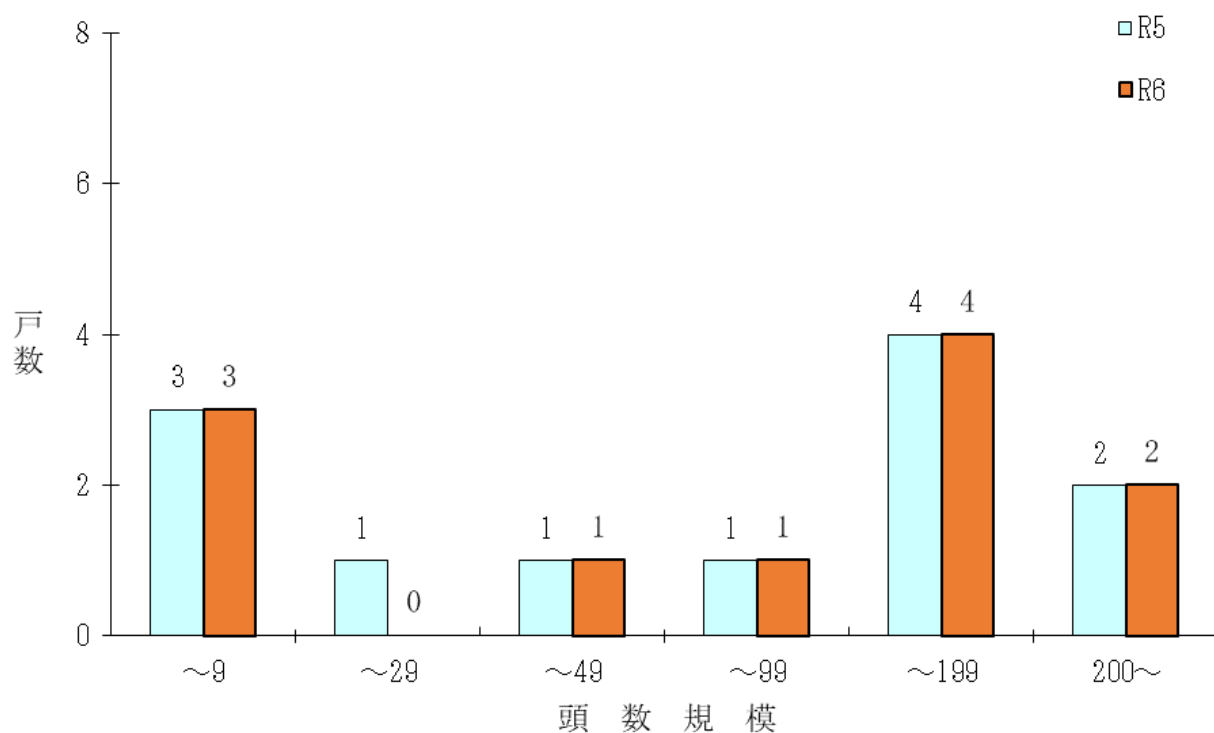
肉用牛頭数及び戸数の推移

令和6年2月1日現在

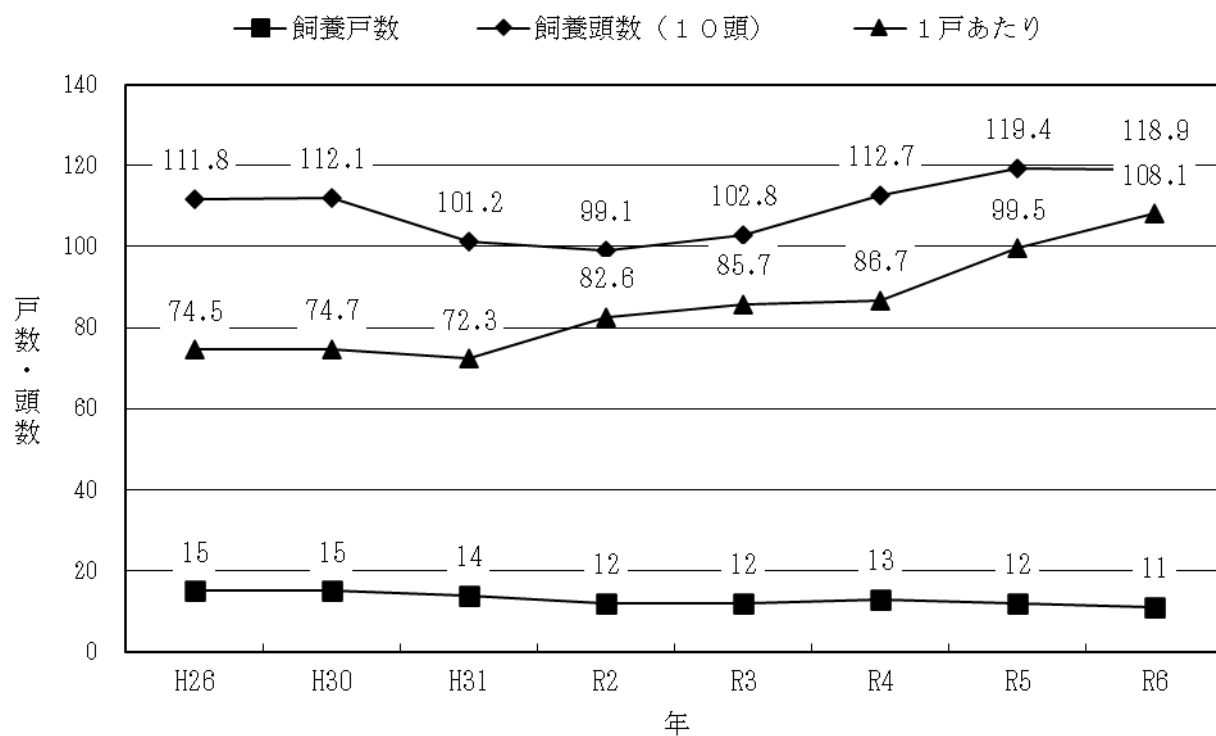
区 分 年	岐 阜 市				岐 阜 県			全 国		
	戸 数		頭 数		戸 数	頭 数		戸 数	頭 数	
	戸	%	頭	%	戸	頭	%	千戸	千頭	%
平成26	15	100	1,118	100	593	33,800	100	58	2,567	100
27	15	100	1,063	95	578	32,100	95	54	2,489	97
28	15	100	1,029	92	533	31,400	93	52	2,479	97
29	15	100	1,068	96	525	31,600	93	50	2,499	97
30	15	100	1,121	100	512	31,800	94	48	2,514	98
31	14	93	1,012	91	497	31,300	93	46	2,503	98
令和2	12	80	991	89	481	32,200	95	44	2,555	100
3	12	80	1,028	92	464	32,800	97	42	2,604	101
4	13	87	1,127	101	452	32,900	97	40	2,614	102
5	12	80	1,194	107	434	34,300	101	39	2,687	105
6	11	73	1,189	106	413	34,000	101	37	2,672	104

(注) 岐阜県・全国の数字は農林水産省畜産統計による。

肉用牛飼養規模別戸数



肉用牛飼養規模状況の推移



(3) 養 豚



飼料価格の高騰、海外からの伝染病の侵入、環境対策等、養豚経営を取り巻く環境は、年々厳しくなっています。

平成30年9月に、国内では平成4年以来26年ぶりとなる豚熱（CSF）が発生し、当時4戸中2戸の養豚農場で感染が確認されました。

こうした中で、市場競争力を高めるため、ビタミン等を加えた専用飼料を与えた銘柄豚肉「飛騨けんとん・美濃けんとん」、「美濃ヘルシ

ーポーク」を生産することでブランド化を図っています。

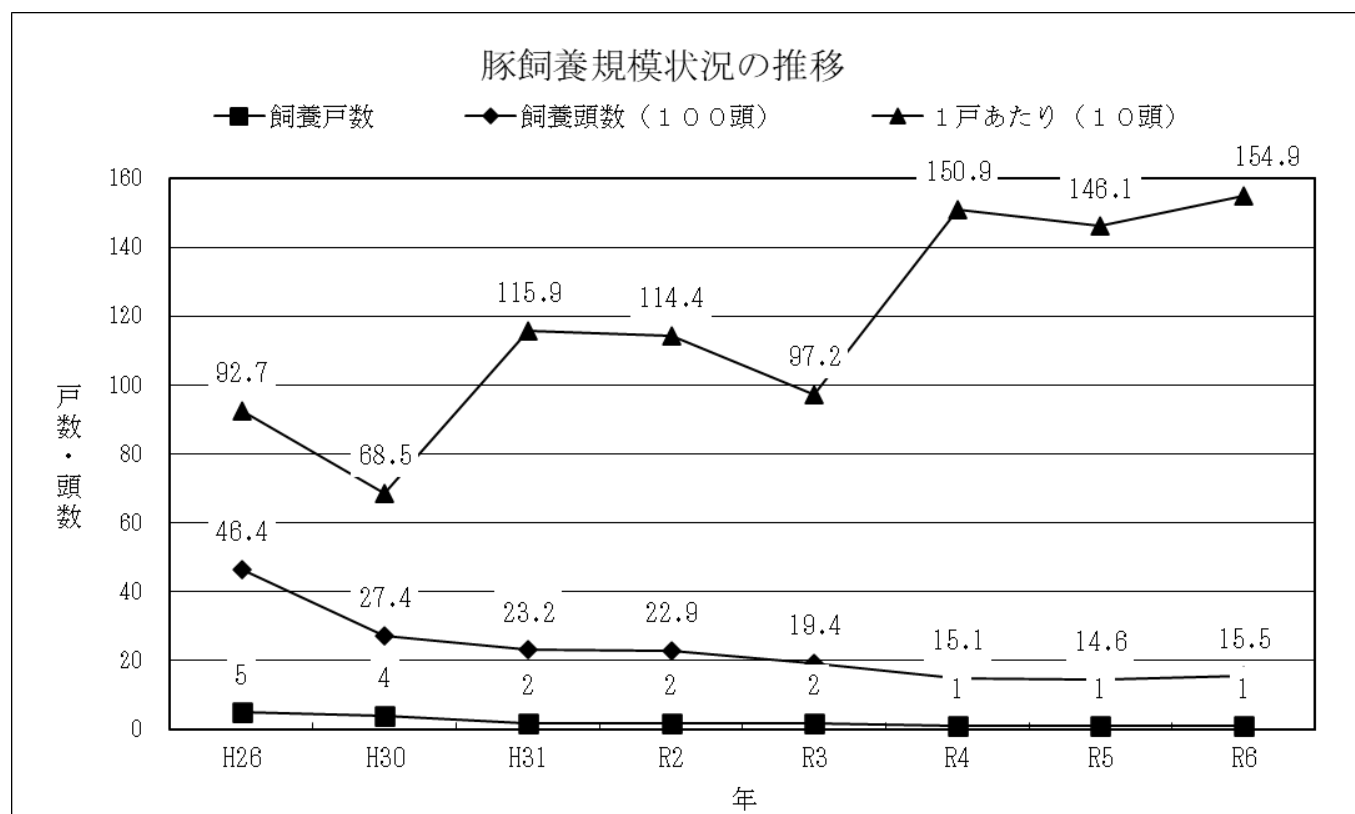
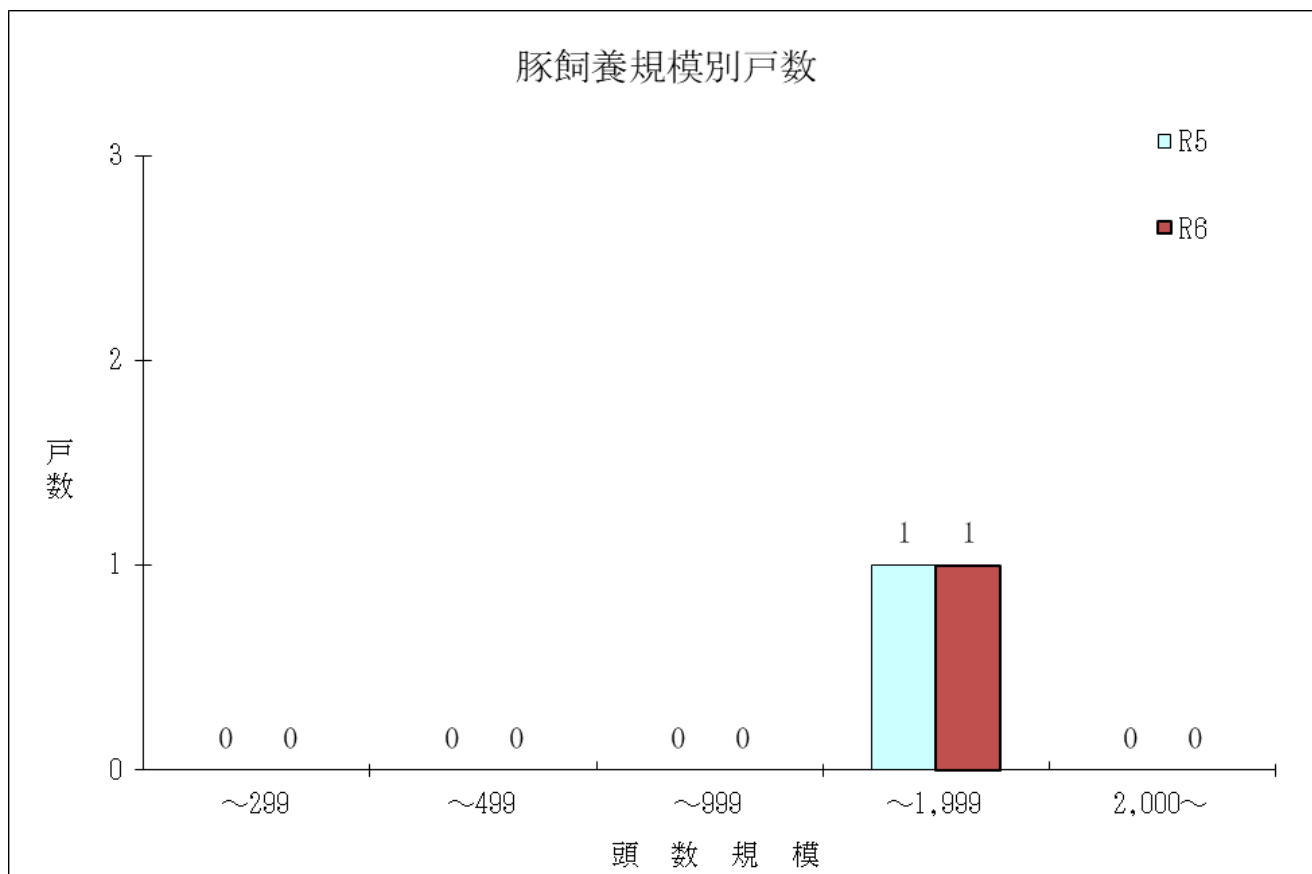
また、家畜の健康を守るため家畜診療、予防注射事業及び畜舎消毒事業等の防疫衛生対策により健康な豚の生産に努めています。

豚頭数及び戸数の推移

令和6年2月1日現在

区分 年	岐 阜 市				岐 阜 県			全 国		
	戸 数		頭 数		戸 数	頭 数		戸 数	頭 数	
	戸	%	頭	%	戸	頭	%	千戸	千頭	%
平成26	5	100	4,636	100	41	99,100	100	5	9,537	100
27	4	80	4,309	93	← (データなし(センサス年のため、調査を行ってない)) →					
28	4	80	4,229	91	40	105,100	106	5	9,313	98
29	4	80	3,553	77	40	110,300	111	5	9,346	98
30	4	80	2,741	59	40	106,300	107	5	9,189	96
31	2	40	2,317	50	32	99,800	101	4	9,156	96
令和2	2	40	2,288	49	← (データなし(センサス年のため、調査を行ってない)) →					
3	2	40	1,944	42	27	79,800	81	3	9,290	97
4	1	20	1,509	33	27	89,700	91	2	8,949	94
5	1	20	1,461	32	28	98,100	99	3	8,956	94
6	1	20	1,549	33	26	91,300	92	3	8,798	92

(注) 岐阜県・全国の数字は農林水産省畜産統計による。



(4) 養 鶏



採 卵 鶏 鶏 舎

本市は、初生ヒナの生産地として全国的に知られています。

都市圏内の養鶏として、鶏卵の高品質化や、銘柄商品など特殊鶏卵の開発・研究に努め、経営の基盤整備を図り、さらに疾病に対する各種予防注射の実施等防疫衛生対策を推進することにより経営の安定と近代化を図っています。

鶏の羽数及び戸数の推移

令和6年2月1日現在

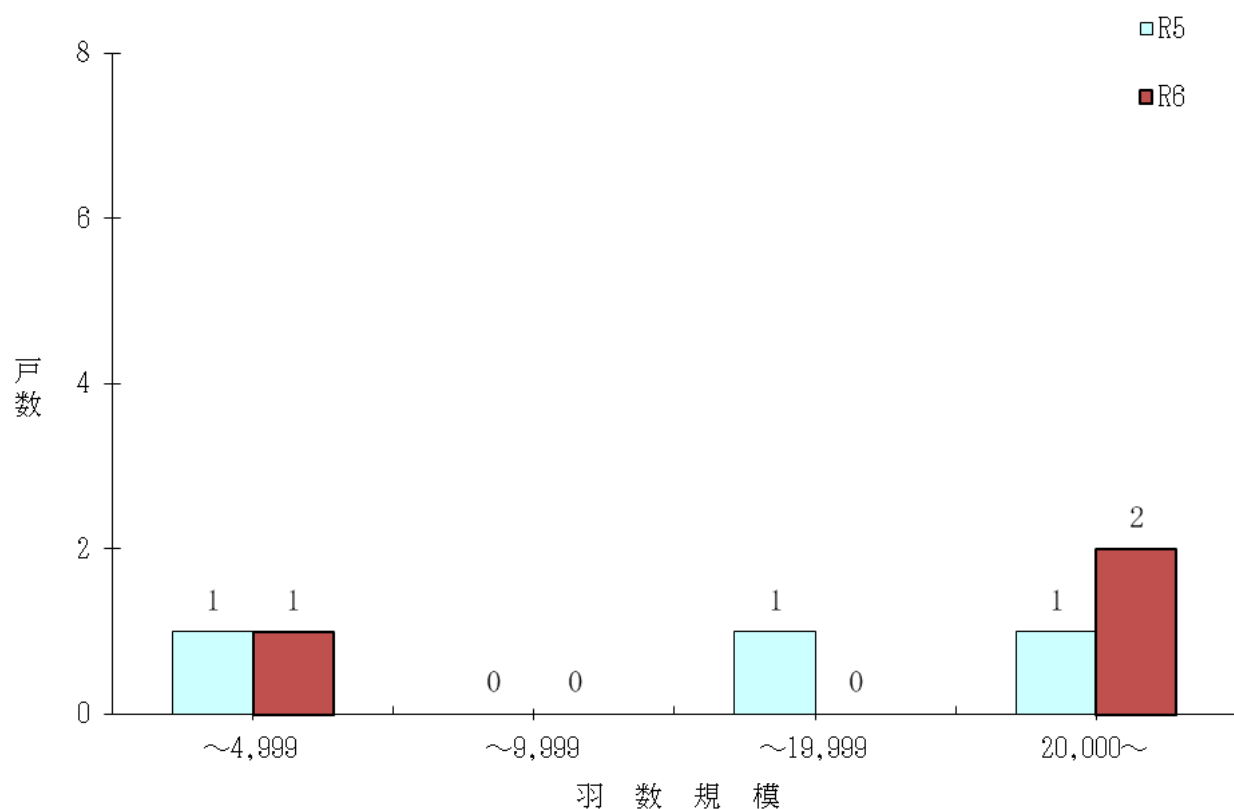
区分 年		採 卵 鶏 （ 種 鶏 を 含 む ）									ブロイラー			
		岐 阜 市				岐 阜 県			全 国		岐阜市			
		戸 数		羽 数		戸 数	羽 数		戸 数	羽 数		戸 数	羽 数	
		戸	%	千羽	%	戸	千羽	%	千戸	千羽	%	戸	千羽	%
平成26	6	100	34	100	92	5,170	100	3	172,349	100	1	0	0	
27	6	100	36	106	← (データなし(センサス年のため、調査を行ってない)) →						1	0	0	
28	5	83	31	91	79	5,077	98	2	173,349	101	1	0	0	
29	4	67	29	85	76	5,088	98	2	176,366	102	1	0	0	
30	4	67	23	68	74	5,264	102	2	181,950	106	1	0	0	
31	5	83	22	65	69	4,867	94	2	182,368	106	1	0	0	
令和2	3	50	18	53	← (データなし(センサス年のため、調査を行ってない)) →						1	0	0	
3	3	50	172	506	50	4,669	90	2	180,918	105	1	0	0	
4	3	50	900	2,647	49	4,945	96	2	180,096	104	1	26	—	
5	3	50	1,028	3,024	43	5,189	100	2	169,810	99	1	0	0	
6	3	50	1,108	3,259	42	5,428	105	2	168,599	98	1	0	0	

(注) 岐阜県・全国の数字は農林水産省畜産統計による。

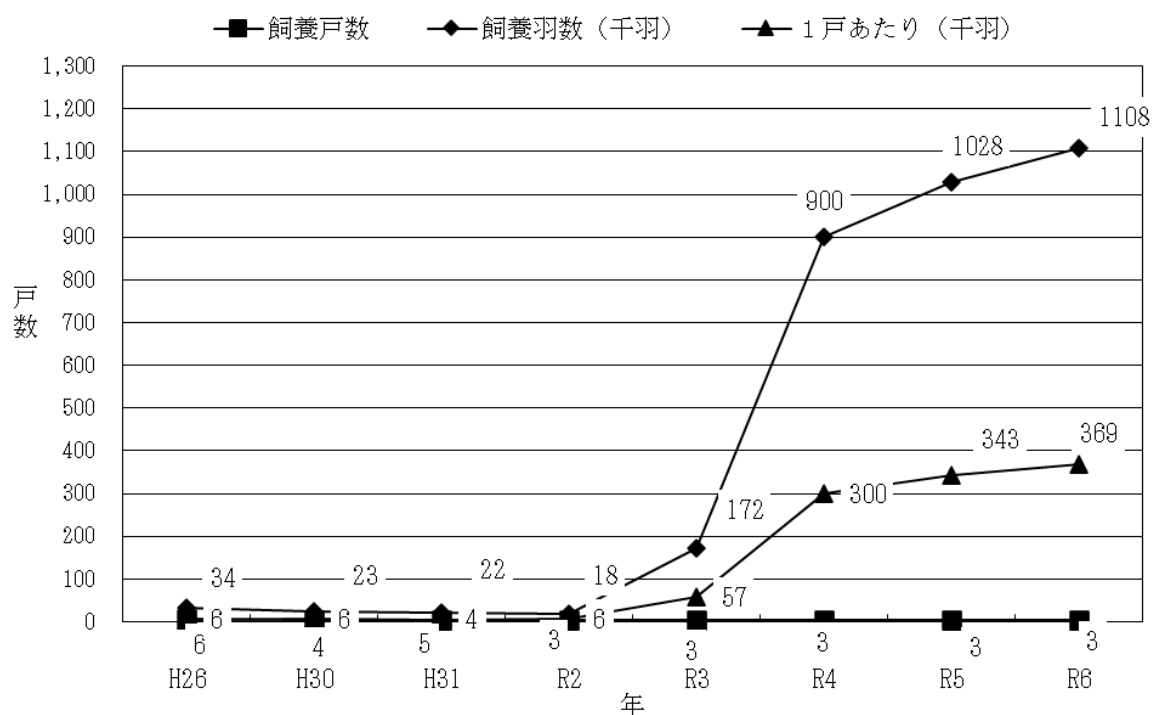
(注) 岐阜県・全国の採卵鶏の戸数・羽数に種鶏の戸数・羽数を含まない。

(注) 鶏（鶏肉）の飼養頭羽数が0羽となっているのは、調査時点で出荷が完了しているため。
通常は約30,000羽を飼養している。

鶏飼養規模別戸数（ブロイラーを除く）



鶏飼養規模状況の推移（ブロイラーを除く）



主要家畜地区別飼養戸数及び頭羽数

令和6年2月1日現在（属地）

区分 地区	乳 用 牛		肉 用 牛		豚		鶏	
	戸 数	頭 数	戸 数	頭 数	戸 数	頭 数	戸 数	頭 数
黒 野	1	20	1	6			1	1,259
網 代	1	36	8	968	1	1,549		
方 県			2	215			2	20,500
西 郷								
合 渡								
三 輪							1	1,087,063
常 磐								
岩野田								
鷺 山								
則 武								
早 田								
市 橋	1	34						
岩								
柳 津								
合 計	3	90	11	1,189	1	1,549	4	1,108,822

(5) 養 蜂



本市の養蜂は、温暖な気候と最良の蜜源であるレンゲに恵まれ、養蜂の先進地として発展してきました。しかし、農業の近代化と構造の変化によって、レンゲの栽培面積は激減し、これを回復させるため養蜂部会と関係機関が一体となってレンゲ播種事業と蜜源樹木の植栽事業を推進してきましたが、害虫や自然環境の変化によって全国的に花が咲かない等の被害が出ており、国・県・関係団体が、対策方法の確立をめざしています。また、経営基盤確立のため柿・イチゴ生産農家と連携し、ポリネーション事業の定着、拡大を図っています。

みつばち飼育群数及び戸数の推移並びに養蜂振興事業の推移

令和6年3月31日現在

区分 年	岐 阜 市				花粉交配用貸蜂		レンゲ播種 栽培面積
	戸 数		飼育群数		施設園芸 (イチゴ)	果樹園芸 (柿)	
	戸	%	群	%	群	群	h a
平成26	51	100	1,891	100	134	115	261
27	49	96	1,783	94	133	106	254
28	14	27	908	48	108	94	241
29	9	18	481	25	114	94	214
30	9	18	487	26	100	94	190
31	11	22	580	31	88	90	135
令和2	11	22	492	26	79	89	111
3	12	24	354	19	77	90	89
4	11	22	481	25	73	86	76
5	11	22	391	21	71	86	63
6	11	22	361	20	—	—	—

(6) 団 体

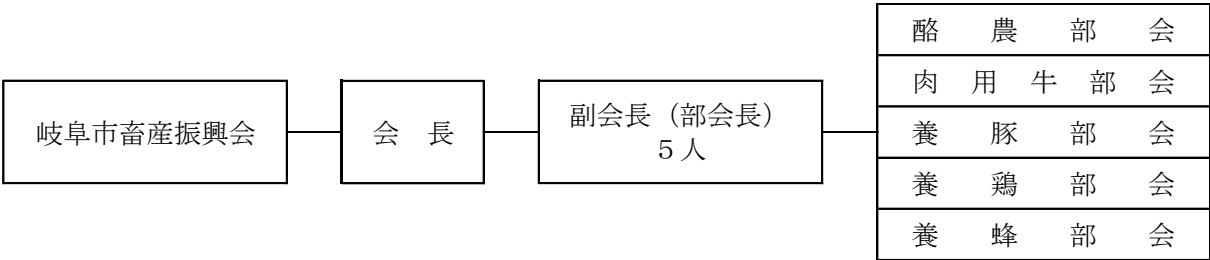
○ 岐阜市畜産振興会

設立年月日 昭和39年5月27日

事務局 岐阜市秋沢402

概 要 本会は、酪農、肉用牛、養豚、養鶏、養蜂の経営農家ごとで組織する5部会をもって構成し、本市の畜産振興に関する諸施策を審議するとともに、それに基づく各種事業の円滑な推進を図るための活動を行っています。

組織系統図



(7) 家畜排泄物等堆肥化处理施設

(施設名) エコプラント椿

(所在地) 椿洞813番地3

(建物面積) 1,463.83㎡(管理棟・製品保管庫含む)

(処理能力) 10t/日

(処理方法) パドル式発酵槽

(堆肥化原料) 鶏ふん(農家)、家畜ふん(畜産センター公園等)、学校等給食残さ等

(竣工) 平成12年3月

令和5年度 実績	原料受入	848t	(令和4年度 1,089t)
	たい肥生産量	324t	(令和4年度 367t)
	たい肥販売量	328t	(令和4年度 352t)

